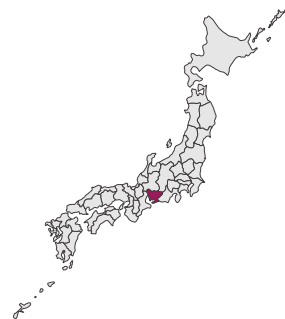


# 愛知県農業共済組合 (NOSAI 愛知)

## 1 愛知県の紹介

愛知県は、日本列島のほぼ中央に位置し、古来より尾張と三河の2国に分けられていた地域です。面積は約5,170km<sup>2</sup>で西部から南部にかけての1帯は平坦な地形であり、木曾川・庄内川が濃尾平野を、矢作川が岡崎平野を、豊川が豊橋平野をそれぞれ形成しています。豊橋平野から伸びる渥美半島は、農業に適した肥沃な地域となります。また、濃尾平野の東側は尾張丘陵からなり、南に伸びる半島が知多半島となります。

気候は年間を通して温暖であり、降雨は夏季に多く、冬季に少ない地域です。渥美半島と知多半島南部は黒潮の影響を受けて温暖となっていますが、北東部の山間地域は、やや冷涼で、気温の較差があります。



冬季には濃尾平野の北西から西にかけては、伊吹山地・養老山地・鈴鹿山地の山あい抜ける日本海からの季節風により、比較的温暖な知多半島や名古屋市においても降雪が見られます。

県内の市町村数は、54市町村（38市14町2村）となっており、人口は、746万人余り（2024年10月1日現在推計）です。

## 2 愛知県の農業

愛知県の農業産出額は全国8位であり、花卉の産出額が60年以上連続日本一となっています。また、野菜や畜産部門が全国上位となります。渥美半島の施設園芸を主体に、「花の王国あいち」として、きく、洋ラン、バラ、観葉植物などの生産が盛んです。水稲は、あいちのかおりやコシヒカリ、あさひの夢、ミネアサヒ、野菜では

キャベツ、トマト、大葉、いちごなど全国有数の産地で、果樹は、みかんの割合が最も多く、他にぶどう、かき、いちじく、なしなど様々な果実が栽培されています。畜産は、乳用牛及び肉用牛、豚、鶏の他に鶏卵は特産品として全国一の生産を誇っています。



県内一帯に産地があるイチゴ  
(写真は愛西市のイチゴ)



彩鮮やかな花は  
贈り物としても人気が高い



キャベツの出荷量は全国1位で  
全国シェアの約20%

### 3 愛知県農業共済組合（NOSAI 愛知）の概要

平成26年4月1日に県内3組合2事務組合1市が合併し、「愛知県農業共済組合」がスタートしました。現在では、本所（名古屋市）、西部支所（稲沢市）、中部支所（刈谷市）、東部支所（豊川市）、田原出張所（田原市）及び家畜診療所（中部支所内併設）、尾張駐在所（本所内併設）豊川駐在所（東部支所内併設）の体制で事業に取り組んでいます。（図1）

【所在地】名古屋市中区丸の内二丁目1番11号

【電話番号】(052)204-2411（代表）

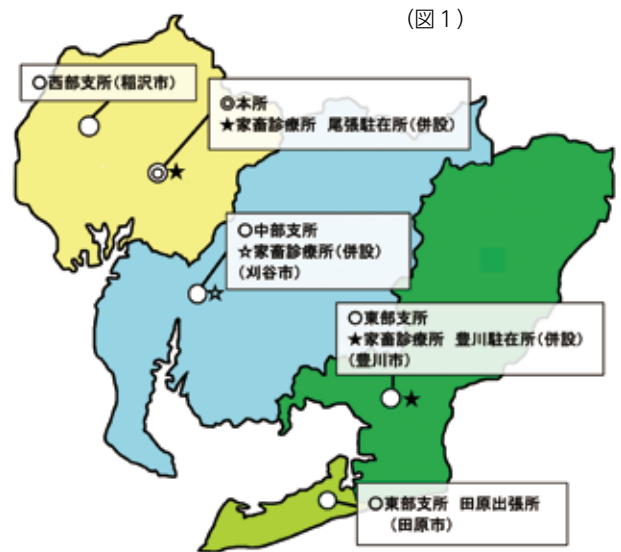
【理事】11名

【監事】3名

【職員数】139人（嘱託・臨時職員含む）

令和6年10月1日現在

（図1）



### 4 愛知県農業共済組合（NOSAI 愛知）の活動

農業経営のセーフティネットとしての農業保険を推進し、安心を全ての農家に届け、日本の農業基盤を将来に渡り守り続ける一助となることが重要であると感じています。

特に収入保険の新規加入者獲得のため、推進専門職員として農業保険サポーター（AIS）を任命し、広く農家の皆さまのもとに足を運んでいます。

また、2年目となる「未来へつなぐ」サポート運動も進めていくこととなるため、皆さまの声を広く汲み取り、安心できる農業の未来を共に築いていくためにも、職員一丸となり、地域や農業に携わる人との繋がりを大切にし、農業の発展に寄与できる組織運営をしていきたいと思ひます。（図2）

（図2）

